

群馬県学校農業クラブ連盟主催

令和6年度平板測量競技会が開催されます！！

- ☆ 群馬県学校農業クラブ連盟が主催する平板測量競技会は、昭和29年以来、71年続く伝統ある競技会であり、群馬県学校農業クラブ連盟に所属する高等学校の生徒が、日ごろの授業等で培った平板測量の技術を競います。
- ☆ 最優秀チームは、10月に岩手県で開催される全国大会への出場権を得ます。
- ☆ 第1回大会から群馬県の農業土木技術職員が競技会運営と審査に協力しており、今年度も農村整備課及び各農業事務所の職員が、将来の技術者育成の一助となるよう支援します。

【日 時】 令和6年7月24日（水）9時～14時

（雨天時は屋内作業のみ実施）

【会 場】 群馬県立藤岡北高等学校（グラウンド及び校舎内）

所在地：藤岡市篠塚90

電 話：0274-22-2308

【競技種目】 平板測量

【出 場 校】 勢多農林高等学校、藤岡北高等学校、

吾妻中央高等学校 計3校

※昨年度の全国大会では、「勢多農林高等学校」のチームが優秀賞を受賞しました。



（令和5年度大会の様子）

(群馬県学校農業クラブ連盟発行「研農 2023年 第74号」より)



平板測量競技会で優秀賞を受賞して

群馬県立勢多農林高等学校

緑地土木科 3年 高田晴也

私たち勢多農林高校Aチームは3年生を中心に結成されています。私たちは1年生の時から県大会に出場していて、1年生のときは優秀賞をいただいて大変驚きました。2年生では前年度の勢いのままに、全国大会に出場することを疑いもせず県大会に臨みましたが、誤差が大きく出てしまい入賞すらできませんでした。今思うと慢心があったのかもしれない。そして迎えた3年生、正直測量競技を続けるか迷いました。前年度の屈辱と進路実現に向けて忙しくなり練習が疎かになってしまうのではないかと不安があったからです。先生とも相談し、3度目の挑戦となる今回は、「量より質」を重視した練習を実行すること、「良く考えること」の実践を目標とし出場を決意しました。実際、誤差が出る原因を私たちなりに発見し、私たちの場合は、測量機器を丁寧に扱うことで誤差が小さくなるということに行きつきました。迅速かつ繊細な測量を目指した結果、県大会では最優秀賞を受賞し、10月25日から熊本県で開催された全国大会に出場することができました。全国大会に向けて夏休み以降練習を重ねたかったのですが、危惧したとおり、公務員試験や大学入試試験など進路活動で全員が揃って練習できる日は少なかったです。しかし、そこでも良く考えチーム内で話し合いと試行錯誤を重ねることができました。全国大会本番は各都道府県代表校を前にして緊張してしまい、第1次作業では巻尺を絡めてしまいました。タイムは時間内に入っており、誤差もなかったのでホッとしました。第2次作業、第3次作業では3人とも落ち着いて作業することができ、大きなミスもなく練習通りにすすめることができました。しかし競技後、算出された面積を確認すると誤差があることが判明し最優秀賞は厳しいかなとガッカリしました。翌朝ホテルで朝食前に先生から優秀賞に入賞したことを知らされとても嬉しかったです。ひそかに狙っていた最優秀賞には届きませんでしたが優秀賞をいただくことができとても嬉しく思います。この結果は3年間ご指導して下さった先生方や、私たちをサポートしてくれた保護者の方々のおかげだと思っています。そして、最後まで一緒に戦った仲間へ感謝します。本当にありがとうございました。